

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

1月の銅の概況及び2月の見通し (1)

予想レンジ

LMEセトル	9,500-10,500ドル	※
建値	109万円-125万円	↑
為替	110-115円	変わらず

(1か月間TTM)

■国際概況

前半はオミクロン株の新規感染が拡大し、米国の1日あたりの感染者数が100万人を突破したこと、ドル高と欧米株式の軟調などのマイナス材料もあったが12月の米雇用統計で失業率の低下が示され、米労働市場の改善が続いていることとドル安に支援しことを好感しUP。

1月15日時点で9,000ドル(セトル)と月初価格より208ドルUPの締め。

後半は米公開市場委員会(FOMC)後のパウエル議長の会見により大幅利上げ観測が広がったことやドル高などのマイナス材料もあったが

ウクライナ情勢を巡る緊迫化による供給不安が台頭したこと、ニッケルの高騰が続き、他メタルも鉛を除いて軒並み上昇したことなどを好感しUP。

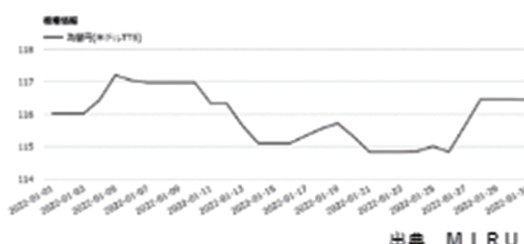
1月末日 現在、後半スタート価格から3.5ドルUPの9,678ドル。

2月スタート建値は116万円。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)

116.02→116.44(円)



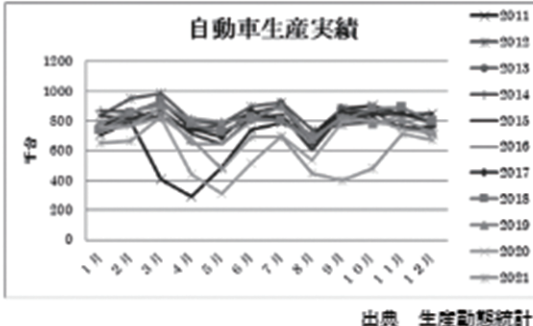
【国内指標】

◆自動車生産台数

生産動態統計によると12月の自動車生産台数は前年比-6.8%の66万9,521台。輸出は+0.5%。

	10月	11月	12月
生産台数	48万1630台	71万2061台	66万9521台
前年比	-40.4%	-4.7%	-6.8%

自動車生産台数

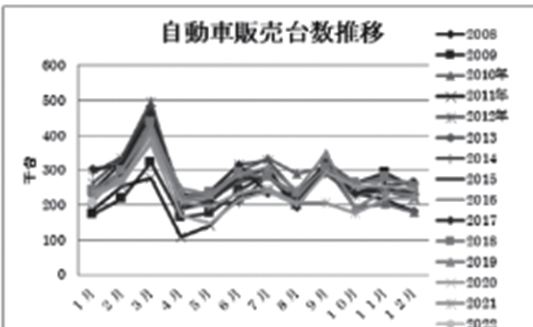


◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると1月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-12.5%の20万7,123台。

	11月	12月	1月
販売台数	21万9276台	21万8782台	20万7123台
前年比	+4.4%	-10.2%	-12.5%

自動車販売台数推移



【住宅着工戸数】

12月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比4.2%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.5%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は68,393戸。前年同月比4.2%増、10か月連続の増加。

○新設住宅着工床面積は5,702千㎡。前年同月比5.9%増、9か月連続の増加。

○季節調整済年率換算値では838千戸。前月比1.5%減、2か月連続の減少。

	10月	11月	12月
新設住宅着工戸数	7万8004戸	7万3414戸	6万8393戸
前年比	+10.4%	+3.7%	+4.2%

(次号へ続く)